

エイアイビューライフ A.I.Viewlife 紹介資料

エイアイビューライフ株式会社

会社紹介

- 商号 エイアイビューライフ株式会社
- 本店 東京都千代田区隼町2番13号US半蔵門ビル201

- 事業目的 医療、介護、福祉、健康、安全に関する機器の開発、製造、販売
医療、介護、福祉、健康、安全に関するデータサービス
- 設立 2017年4月5日
- 資本金 7500万円
- 代表者 代表取締役 安川 徹

- 製品概要 自立支援型見守りロボット [A.I.Viewlife]

- 経営理念 高齢化社会や感染症が到来している日本において
看護・介護を必要とする方に対して尊厳を持った
安心安全な見守りと看護・介護者への**安心安全な
作業支援**を実現するための抜本対策が求められて
おり、当社はICT技術を活用したソリューション
にて社会的課題の解決を目指しております。

- 採択事業 平成29年度ロボット介護機器開発・標準化事業（日本医療研究開発機構）
平成29年度新製品・新技術開発助成事業（東京都中小企業振興公社）
令和02年度ロボット介護機器開発・標準化事業（日本医療研究開発機構）
令和02年度先進的防災技術実用化支援事業（東京都中小企業振興公社）

- U R L <https://aiview.life/>



A.I.Viewlifeの製品紹介

「介護を必要とする方の安心・安全な見守り」
「介護をする方の安心・安全な作業支援」

各種
助成金対象
製品

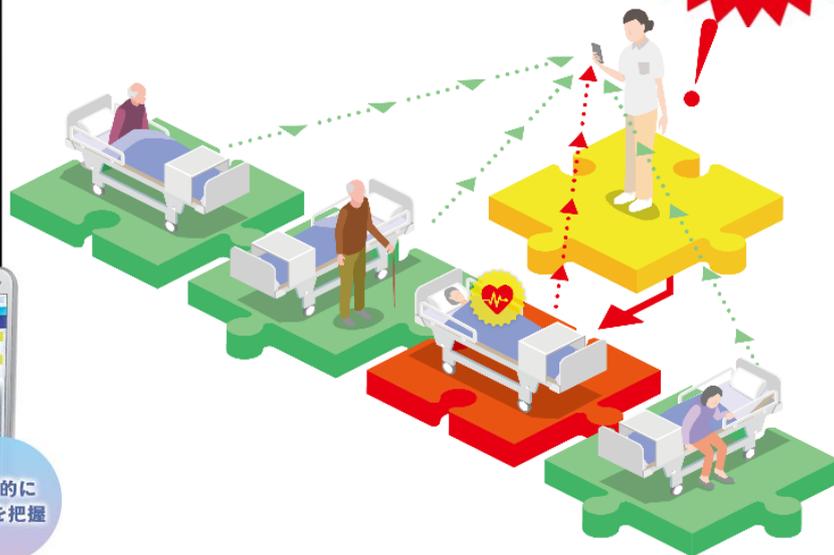
必要情報
のみ表示



生体異常を
最優先告知

広角
IRセンサー

視覚的に
行動を把握



非接触型見守りセンサー

感染症対策支援システム

見守りロボット（カメラ型）の導入目的

● 転倒予防（事故件数の低減）

精度高い動作検知により、早く駆けつけて介助することで、転倒事故低減できる
また、録画・履歴データを用いた転倒リスクの分析により、転倒リスク要因を
解明・対策することで転倒予防につなげる

● 夜間勤務の負荷低減（離職者の低減／人材確保）

居室内での在室および生体確認ができることから夜勤巡回の回数を削減できる
訪室先の優先度合いを離れた場所から画面で判断できる（スマホ/iPad/PC等）

● 訪室回数の低減 → 接触回数の低減（感染リスク回避対策）

居室内全体が見えることにより、検知時や気になる時の不要な訪室を回避できる

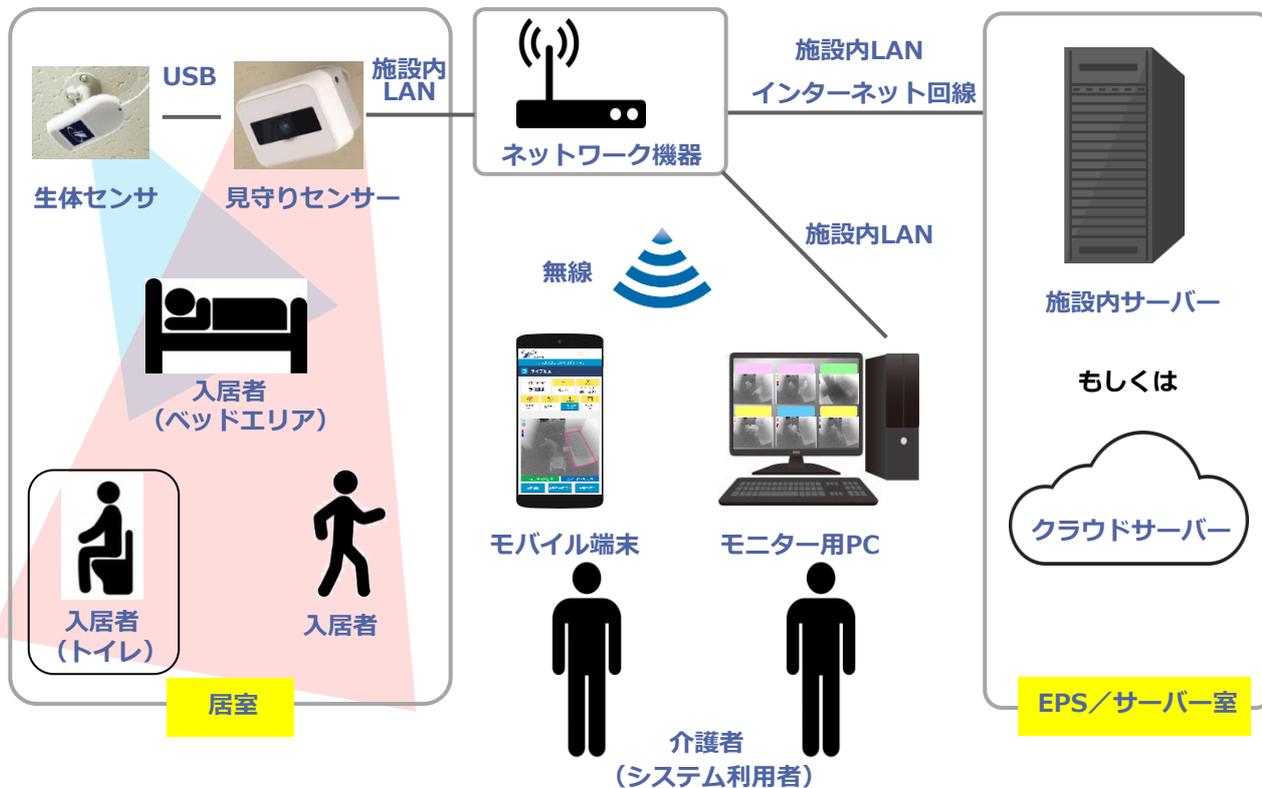
● ストレス軽減

居室内が見えることにより、様々な精神的ストレスが軽減される
被介護者においては、不要な訪室が回避されることによる安心、介護者において
は、何時でも状況を把握できる安心によりストレス軽減ができる

● 訴訟リスクの回避

検知履歴情報は保存されるため、事故発生時のエビデンスとなる
また、看取りに関しては生体異常として検知される

システム構成：赤外線センサー＋生体センサー



ICT技術機器となるため、最低限のネットワーク環境が必要となります。

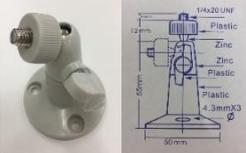
2. ネットワーク機器品目／見守りシステム品目

<ネットワーク機器品目 (推奨)>

<p>PoEHUB (IEEE802.3at推奨) [レイヤー2 Giga PoE スマートスイッチ 16ポート]</p>	<p>WiFiアクセサ*イント (PoE給電 / IEEE 802.11b/g/n、 IEEE 802.11a/n/ac)</p>	<p>LANケーブル (1000BASECAT5e以上推奨)</p>	<p>USBケーブル (Type-A to microB)</p>	<p>LAN引込用コンセント (居室内天井設置)</p>
<p>推奨 : SWX2210P-18G, SWX2210P-28G</p>  <p>※16ポート最大給電量247W ※24ポート最大給電量370W ※全ポート数の8割にて構成を推奨 ※PoEスイッチの総給電量を考慮し選定</p>	<p>推奨 : YAMAHA WLX212</p>  <p>※6部屋に1台間隔を想定し算出 ※居室の壁1枚迄WiFiが届く想定</p>	<p>本数 —○— CAT5e</p> 		

<見守りシステム品目>

<p>見守りセンサー (PoE給電 : EtherCable)</p>	<p>生体センサー (見守りセンサーよりUSB給電)</p>	<p>専用サーバ (LinuxOS、ローカル接続)</p>	<p>モニター画面 (WEBブラウザ閲覧)</p>	<p>モバイル端末 (Android / iOS / iPad)</p>
 <p>※消費電力15.4w ※寸法92×122×56mm</p>	 <p>※消費電力最大1.1w ※寸法84×47×15mm</p>	 <p>三口コンセント をご準備下さい</p>  <p>※消費電力500W ※寸法169×356×435mm</p>	 <p>※消費電力最大21w ※寸法490×381×180mm</p>	 <p>※2.4Ghz/5GHz帯受信</p>

<p>A.I.Viewlife専用ソフトウェア (使用許諾書契約書、アプリケーション含む)</p>	<p>取付金具 (見守りセンサー/生体センサー)</p>	<p>石膏釘 (取付金具用 : 3カ所)</p>
		

製品紹介：特長① 業界初広角IRセンサー搭載

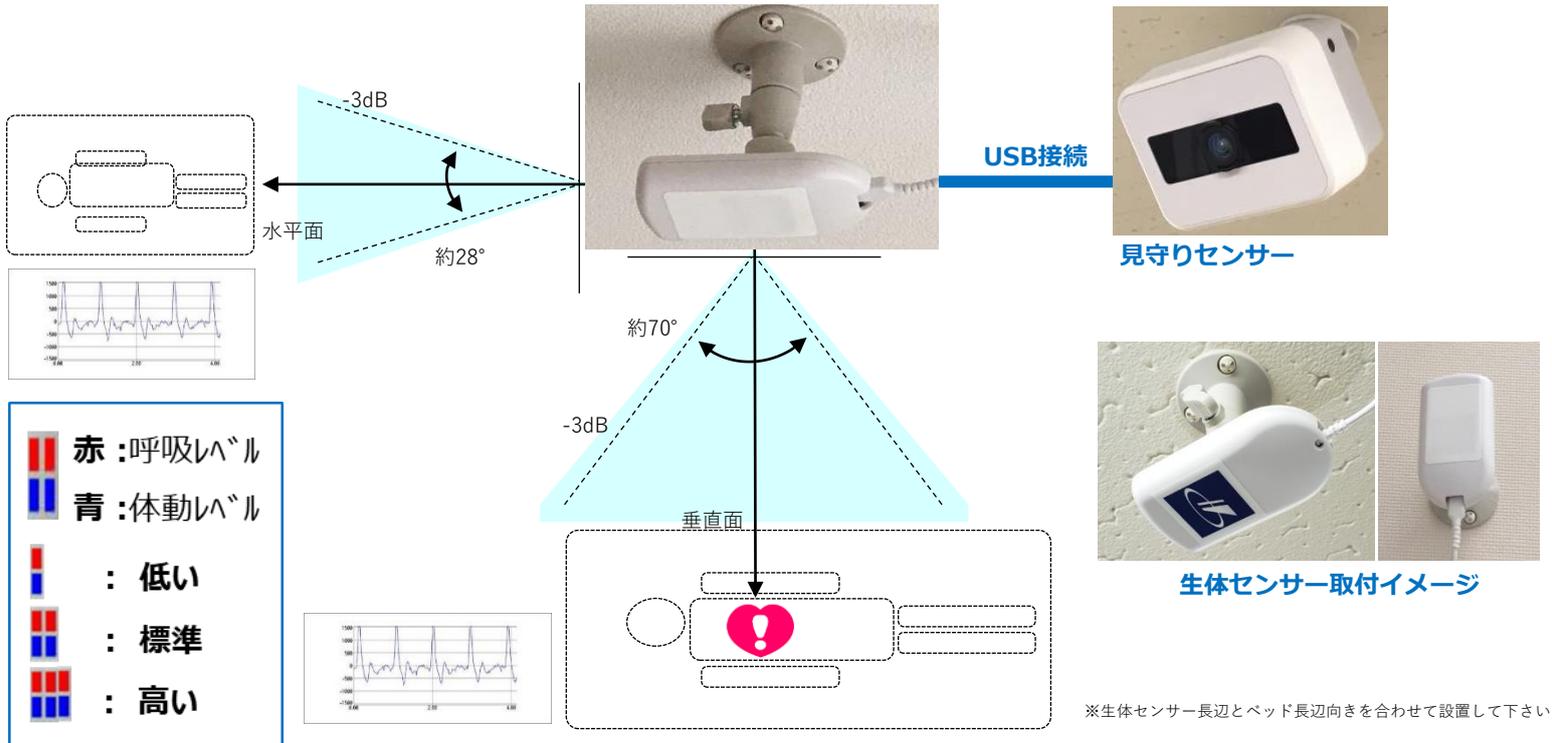
広角赤外線レーザー（TOF方式）の採用

- ・昼夜問わず見守り（検知・映像閲覧）が可能
- ・3次元距離データ（ x, y, z 座標）を用いた高精度検知アルゴリズム
- ・プライバシー保護された画像（個人情報漏洩防止）



製品紹介：特長② 非接触型生体センサー

24Ghz帯のマイクロ波を用いた生体センサーであり、指向性を持った照射角（水平：28度、垂直：70度）と照射距離3mにより、ベッドエリアに限定した生体異常（呼吸・体動）を検知することができます。



The diagram illustrates the sensor's operation. A central image shows the sensor mounted on a wall, connected via a blue USB cable to a monitor. The sensor's beam is shown as a light blue cone. The horizontal beam angle is approximately 28 degrees, and the vertical beam angle is approximately 70 degrees. The beam intensity is labeled as -3dB. A horizontal plane is indicated at the 28-degree angle, and a vertical plane is indicated at the 70-degree angle. A dashed box shows a person lying in bed with a red exclamation mark, indicating a detected anomaly. Two inset graphs show waveforms representing breathing and movement. A legend on the left explains the color coding for breathing and movement levels.

USB接続

見守りセンサー

生体センサー取付イメージ

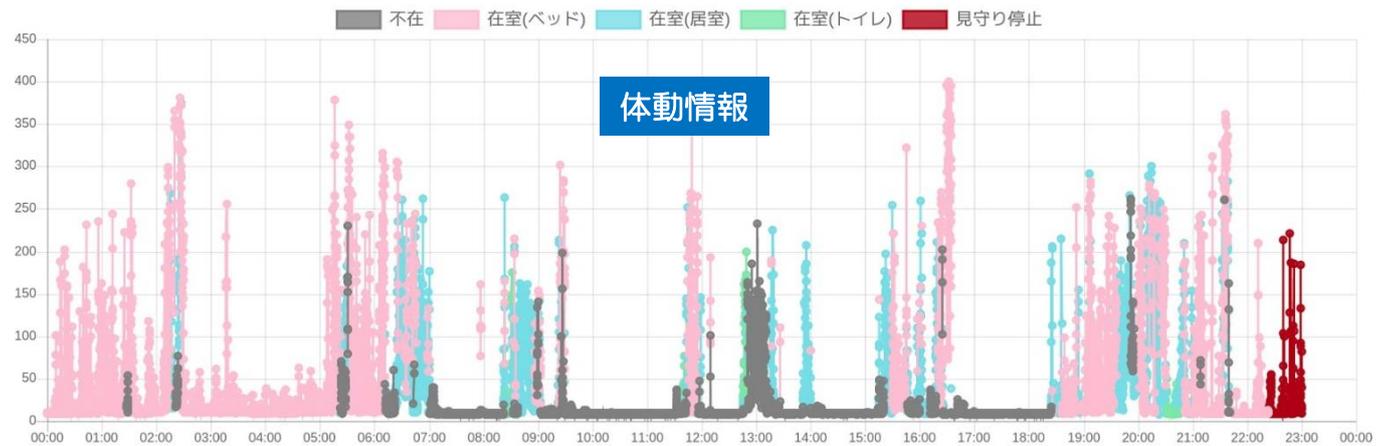
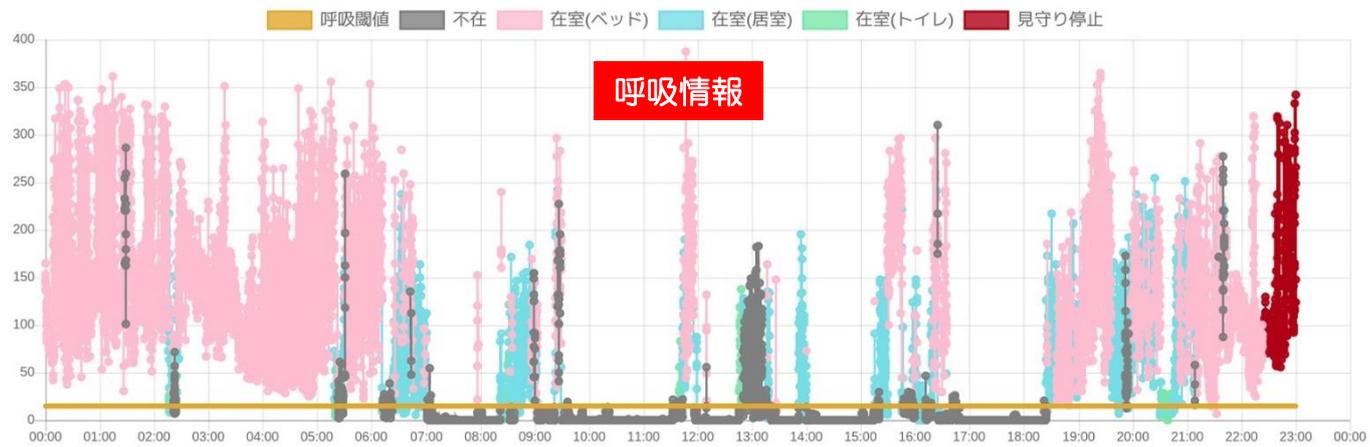
※生体センサー長辺とベッド長辺向きを合わせて設置して下さい

赤：呼吸レベル
青：体動レベル

：低い
：標準
：高い

※呼吸・体動を3段階で表示します

製品紹介：特長②：生体センサー [ログ情報]



製品紹介：特長③ 多様な行動検知（ユニット型）

● 広角IRセンサー搭載

● 検知アルゴリズム搭載

● 生体モニター搭載



ユニット型

ずり落ち

起き上り

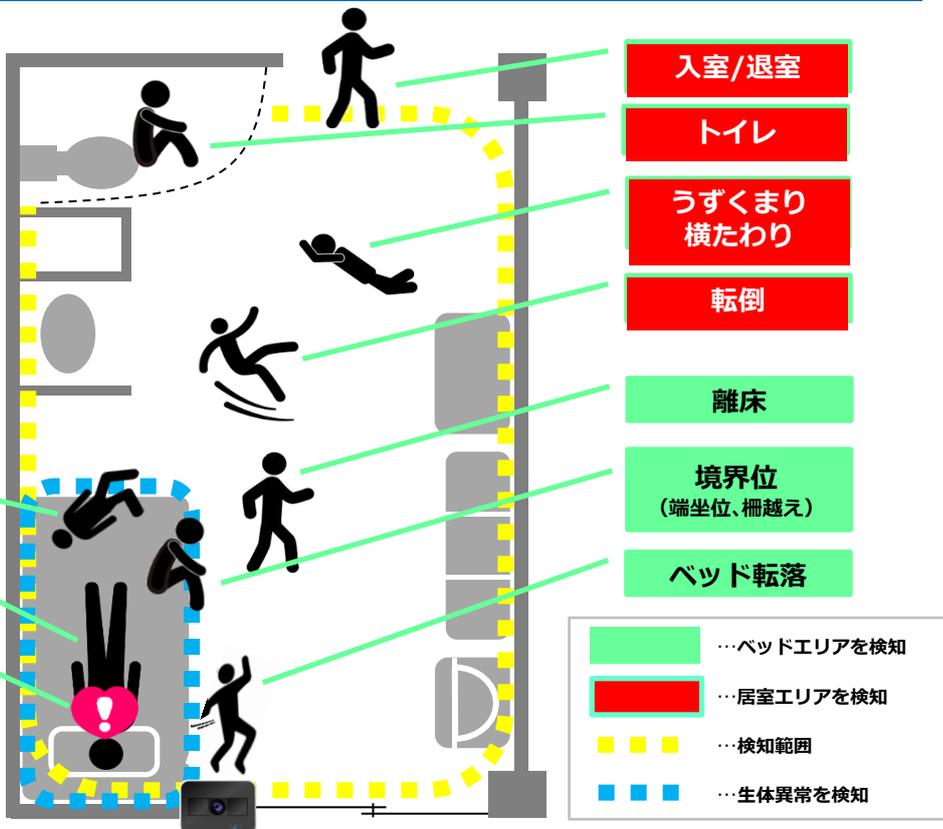
生体センサー
(生体異常)



広角IRセンサー



生体センサー

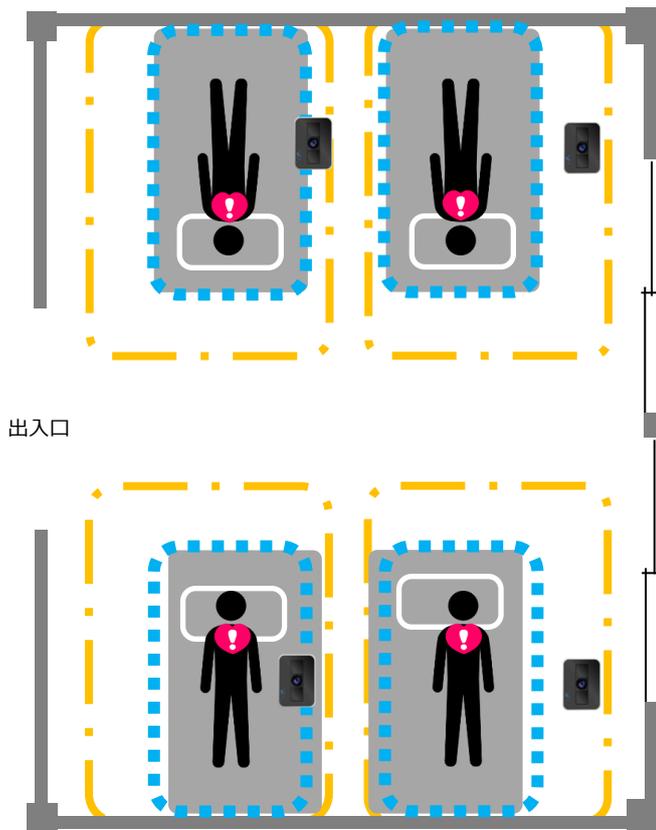


製品紹介：特長③ 多様な行動検知（多床室型）

● 広角IRセンサー搭載

● AI検知アルゴリズム搭載

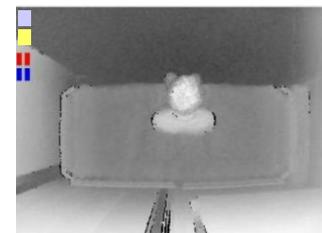
● 新生体モニター搭載



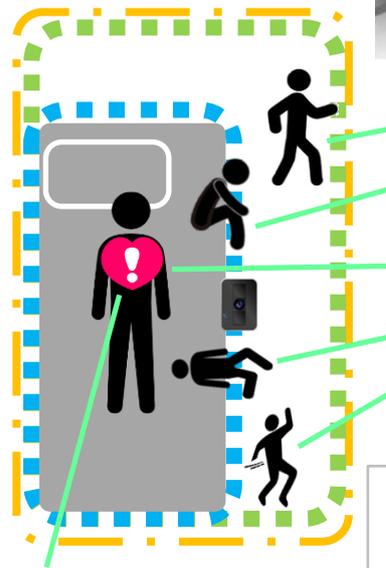
広角IRセンサー



生体センサー



多床室型



生体センサー
(生体異常)

- 離床
- 境界位
(端坐位、柵越え)
- 起き上り
- ずり落ち
- ベッド転落

- ...ベッドエリアを検知
- ...生体異常を検知
- ...多床室型の検知範囲
- ...生体異常の検知範囲
- ...カーテンレール

製品紹介：特長③ 多様な行動検知（昼夜モード）



TK18001015としてログイン済み

見守り設定

1 検知動作を選択してください（複数選択可）

検知動作を選択する

- (昼) 起き上がり
- (昼) 転倒
- (昼) 横たわり
- (昼) 生体異常

2 センサー位置を設定してください

センサー位置を設定する

3 ベッド位置を調整してください

ベッド位置を調整する

<必要な検知動作を選択>

検知動作の選択

	 (昼)	 (夜)
起き上がり	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
境界位	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
立位	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
離床	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ベッド転落	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ずり落ち	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
転倒	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
うずくまり	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
横たわり	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
生体異常	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
トイレ異常	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
画面外検知	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
入室	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
退室	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

閉じる

登録する

- ・昼の検知項目にチェック
- ・夜の検知項目にチェック

例1

昼間はほぼ部屋に居ない為、昼の設定項目は生体異常のみ設定
※職員の入室や掃除やベッドメイクでの通知を不要にできる

例2

夜は徘徊が気になる方、起き上がり、離床、退室を設定

★昼夜モードの時間設定はサーバー（管理者メニュー）画面より下記画面にて設定します。



製品紹介：特長④ 情報の見える化（ブラウザー画面）

ルーム一覧

ライブ一覧画面

エアイビューライフ株式会社

ルーム一覧 ライブ一覧 管理者メニュー データ分析

エラー 検知 在室 (ベッド) 在室 (居室) 在室 (トイレ)
不在 未接続 (正常系) 未接続 (異常系) 見守り停止

192.168.100.165 192.168.100.189
19-2-5163 19-2-5187

192.168.100.190 192.168.100.195
19-2-5188 19-2-5193

エアイビューライフ株式会社

ルーム一覧 ライブ一覧 管理者メニュー データ分析

ライブビュー ON

エラー 検知 在室 (ベッド) 在室 (居室) 在室 (トイレ)
不在 未接続 (正常系) 未接続 (異常系) 見守り停止

在室 (ベッド) 在室 (居室) 在室 (トイレ)
見守り停止 不在 検知

ライブ一覧画面



ライブビュー OFF 押下

1画面で6居室を同時に閲覧可能

製品紹介：特長⑤ 情報の見える化（場所・高さ）

＜インジケータ表示例（上段：動体の場所、下段：最頂点の高さ）＞

紫	:ベッド エリア	上段
桃	:境界位 エリア	
緑	:居室 エリア	

橙	:立位 高さ	下段
黄	:座位 高さ	
水	:臥位 高さ	

広角IRセンサ

紫	上段：エリア
黄	下段：高さ

生体センサー

赤	上段：呼吸
青	下段：体動

赤	:低い
青	:標準
赤	:高い



紫	立位	ベッドエリア
橙		
紫	起き上り	
黄		
紫	臥位	
水		

桃	境界位 (端座位/柵越え)	境界位エリア
黄		
桃	ずり落ち	
水		

緑	立位	居室エリア
橙		
緑	うずくまり/ベッド転落	
黄		
緑	横たわり/ベッド転落	
水		

製品紹介：特長⑥ 情報の見える化（トイレ）

➤ 見守り設定> トイレ設定> 時間設定> 設定時間超過後に通知

①



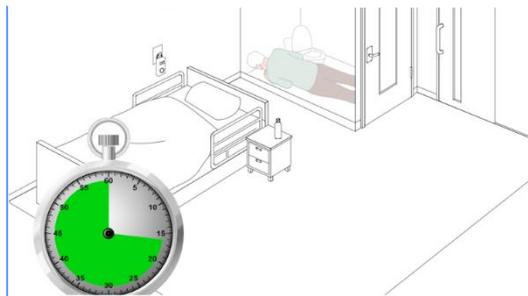
トイレに入ったので
タイマースタート



タイマー内にトイレを済ませた為
問題なし

②

通知設定の20分が経過・・・



③

状況確認の為、通知！！



製品紹介：特長⑦ 情報の見える化（検知履歴）

行動検知の履歴データは全て記録されており、モバイル端末またはサーバPC（モニタPCも含む）から閲覧およびエクスポート※外部出力することができます。 ※ 検知履歴の保存期間は台数や検知数により増減しますが、約2ヶ月～3ヶ月分が保存され古いデータから削除されます。



The screenshot shows the A.I.Viewlife web interface. At the top, there's a navigation bar with the logo and user information: "TK17001022としてログイン済み". Below this, a header section displays "検知履歴" (Detection History) and "ルーム：Room01" (Room: Room01) and "ベッド：1" (Bed: 1). The main content area is titled "検知内容" (Detection Content) and lists a series of events with timestamps and a "再生" (Play) button for each. At the bottom, there is a button labeled "検知履歴を閉じる" (Close Detection History).

検知内容	再生
2019/11/27 19:05:03 入室	再生
2019/11/27 19:05:00 退室	再生
2019/11/27 19:02:04 横たわり	再生
2019/11/27 18:59:25 入室	再生
2019/11/27 18:59:12 退室	再生
2019/11/27 18:57:15 入室	再生
2019/11/27 18:56:29 退室	再生
2019/11/27 18:52:14 横たわり	再生

【起き上り】 → 【端座位】 → 【離床】



【うずくまり】



製品紹介：特長⑧ 情報の見える化（常時録画）

常時録画設定をされた場合、居室内のリアルタイム映像を365日24時間洩れなく自動録画されます。※保存できる期間は居室数により異なります

※ 常時録画履歴の保存期間は台数や検知数により増減しますが、約1週間～2週間分が保存され古いデータから削除されます。

センサー録画一覧

ルーム： 192.168.1.202 ベッド： ベッド：192.168.1.202 センサー： 18-1-4223

録画開始日時	録画停止日時	録画時間	再生	エクスポート
2020年09月14日 16:24:52	2020年09月14日 16:50:00	25分08秒	再生	エクスポート
2020年09月14日 15:54:52	2020年09月14日 16:24:52	30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート
2020年09月07日		30分00秒	再生	エクスポート



2019-08-01 20:42:09

製品紹介：特長⑨ 情報の見える化（生活動作）

生活動作における検知履歴から入居者毎の活動レベルを定量化することにより、容易に活動レベルの変化を把握することができます。

<検知履歴一覧 (CSV) >

ルーム名	検知日時	検知動作	居室状態	対応状況
201	2019年5月15日 3:17:15	起き上がり	在室(ベッド)	
201	2019年5月15日 3:15:58	起き上がり	在室(ベッド)	済(正)
201	2019年5月14日 22:36:38	退室	在室(居室)	
201	2019年5月14日 22:35:13	入室	在室(居室)	済(正)
201	2019年5月14日 7:34:43	離床	在室(居室)	
201	2019年5月14日 7:34:08	起き上がり	在室(ベッド)	済(正)
201	2019年5月14日 7:33:41	起き上がり	在室(ベッド)	
201	2019年5月14日 1:09:43	トイレ異常	在室(トイレ)	済(正)
201	2019年5月14日 0:49:43	離床	在室(居室)	
201	2019年5月14日 0:48:22	境界位	在室(ベッド)	
201	2019年5月14日 0:47:48	起き上がり	在室(ベッド)	済(正)

<総合グラフ (1週間累積) 画面>



活動レベル低下の早期発見

製品紹介：特長⑩ ディープデータ活用

見守りシステムのクラウド化

業務の見える化・経営効率化のために



クラウド化・ICT / RT 技術で、施設内の生体情報・生活動作情報・介護情報をビッグデータとして活用することで、施設・被介護者のご家族・社会を通じての見守りが可能になります。

被介護者の生体・動作の検知・予測



ご家族の見守り参加



ビッグデータ活用で予防医学の研究・診断サービス等の実現



機器による
見守り

機器への
機能追加

ICT / RT 技術

付加価値
サービス



施設内の
情報収集

データ分析

複数施設の統合管理で管理者削減

管理業務の一元化



セキュリティ/監視モニター

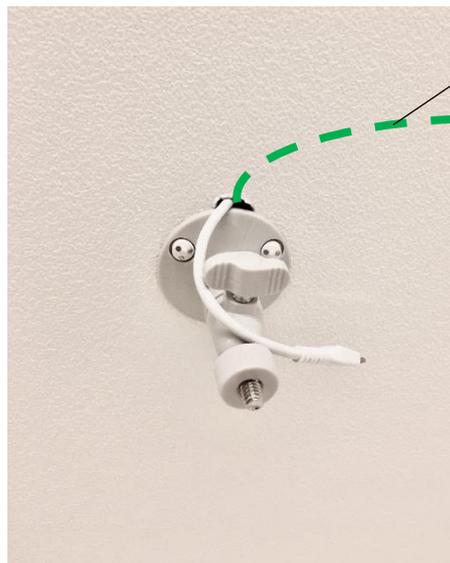
被介護者の生活リズム
把握で介護業務効率化

生活不活発病の視覚化

重大疾患の早期発見
(脳梗塞・心筋梗塞など)

設置イメージ①：LAN・USBケーブル設置イメージ

- LANケーブル：カテゴリ5e以上のケーブル使用
- USBケーブル：Type-A to microBケーブル使用
- LANプレートから生体センサー金具位置まで天井裏を通線



<生体センサー側>

- ・USBケーブルを通した穴とケーブルが緩まないよう、穴を塞ぐように金具を取り付けて下さい

※生体センサー設置前の状態



<IRセンサー裏側>

- ・LANケーブルとUSBケーブルを接続する際 USBは下段へ差し込んで下さい
- ・突っ張らないよう適度のたるみ必要

※IRセンサー設置後



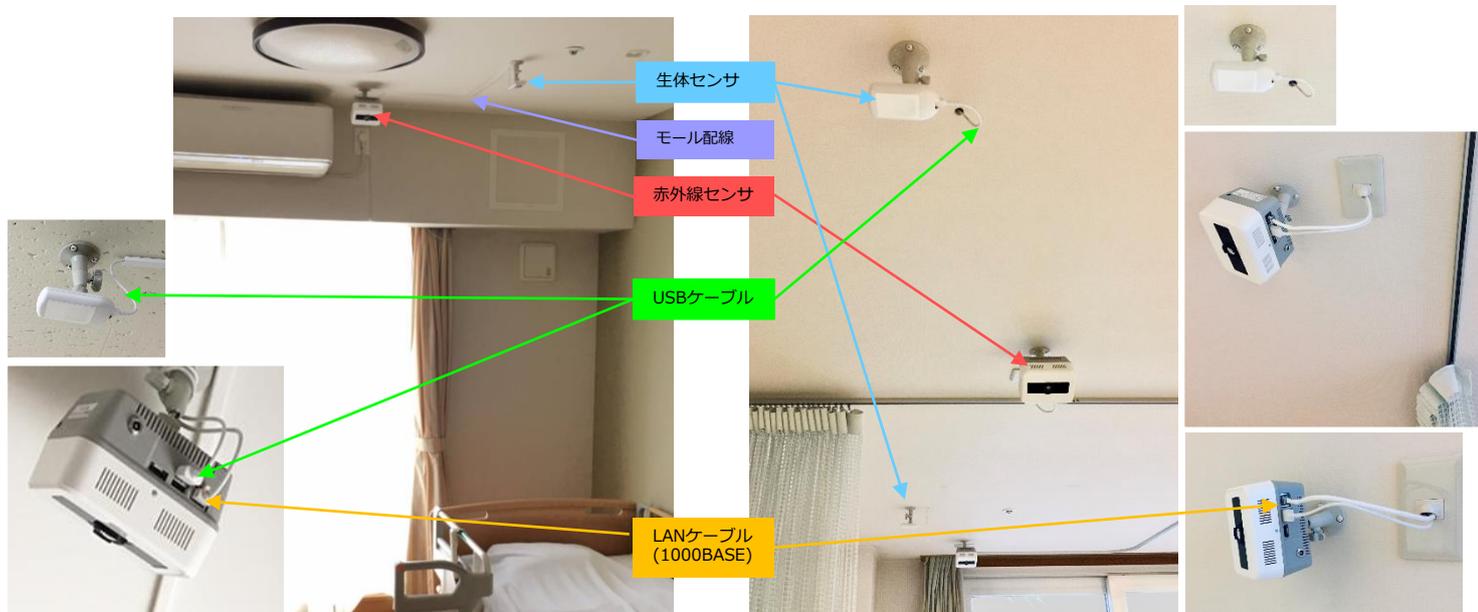
<LANプレート側>

- ・LANケーブルとUSBケーブルが自然に垂れ落ちて来ないようにして下さい
- ※IRセンサー設置前の状態

設置イメージ②：個室・多床室設置イメージ

● 赤外線センサ+生体センサ（個室）

● 赤外線+生体センサ（多床室）



<上記設置イメージ例の補足>

● 上左図：赤外線センサー+生体センサ（個室/モール配線）

赤外線センサーと生体センサー間のUSBケーブルをモールを用いて設置した例

● 上右図：赤外線センサー+生体センサ+モール（多床室/天井裏配線）

赤外線センサーと生体センサー間のUSBケーブルを天井裏より通線し設置した例

初期費用：導入機器構成と概算費用イメージ

A.I.Viewlife生体センサ連動版
【定価43万】 × 1台





A.I.Viewlifeシステム導入セット（生体センサ連動版）

[推奨定価]
= 約160万
(作業費/サポート費込、税別)

A.I.Viewlife生体センサ連動版
【定価43万】 × 10台





A.I.Viewlifeシステム導入セット（生体センサ連動版）

[推奨定価]
= 約600万
(作業費/サポート費込、税別)

A.I.Viewlife生体センサ連動版
【定価43万】 × 20台





A.I.Viewlifeシステム導入セット（生体センサ連動版）

[推奨定価]
= 約1000万
(作業費/サポート費込、税別)

- ※ 上記価格は市場販売価格ではございません。販売代理店等により提示される御見積書にて、ご確認をお願いします。
- ※ 上記費用には、4年延長保守費、NW工事費、介護ソフト連携ソフトウェア・ナースコール連動ソフトウェア費は含まれておりません。
- ※ ナースコール連動メーカー：アイホン(Vi-nurse) / ケアコム / ナカヨ
- ※ 介護ソフト連携メーカー等：ほのぼの / ワイズマン / 福祉の森 / ケアカルテ(進行中)

介護事業所におけるICT導入の加速化支援

既定経費対応

- 介護現場のICT化に向けては、令和元年度より、各都道府県に設置されている地域医療介護総合確保基金を活用した導入支援を実施しており、令和2年度には、補助上限額の拡充等を行ったところ。
- 今般の新型コロナウイルス感染症の発生により、感染症予防のための取組等が求められるなど、職員の業務負担が増えている現状を踏まえ、業務負担の軽減や業務効率化を図るため、更なる拡充を行う。

<拡充内容>

- ① 補助上限額の更なる引き上げ（事業所規模に応じて100万円～260万円）
- ② 補助対象となる機器の拡充（wi-fi購入・設置費）
- ③ 補助対象となる介護ソフトの拡充（業務効率化に資する勤怠管理、シフト表作成等の介護ソフト購入も対象とする）

	令和元年度	令和2年度（当初予算）	令和2年度（補正予算）																
補助上限額	30万円	<p>拡充</p> <p>事業所規模に応じて補助上限額を設定</p> <table border="1"> <tr> <td>職員 1人～10人</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td>職員 11人～20人</td> <td>80万円</td> </tr> <tr> <td>職員 21人～30人</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>職員 31人～</td> <td>130万円</td> </tr> </table>	職員 1人～10人	50万円	職員 11人～20人	80万円	職員 21人～30人	100万円	職員 31人～	130万円	<p>拡充</p> <p>事業所規模に応じて補助上限額を設定</p> <table border="1"> <tr> <td>職員 1人～10人</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>職員 11人～20人</td> <td>160万円</td> </tr> <tr> <td>職員 21人～30人</td> <td>200万円</td> </tr> <tr> <td>職員 31人～</td> <td>260万円</td> </tr> </table>	職員 1人～10人	100万円	職員 11人～20人	160万円	職員 21人～30人	200万円	職員 31人～	260万円
職員 1人～10人	50万円																		
職員 11人～20人	80万円																		
職員 21人～30人	100万円																		
職員 31人～	130万円																		
職員 1人～10人	100万円																		
職員 11人～20人	160万円																		
職員 21人～30人	200万円																		
職員 31人～	260万円																		
補助率	1/2	<p>拡充</p> <p>都道府県の裁量により設定 (事業者負担は入れる事を条件とする)</p>	同左																
補助対象	介護ソフト、スマートフォン、タブレット等	同左	<p>拡充</p> <p>従来の機器・介護ソフトに加え、以下を新たに対象とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・wi-fi購入・設置費（通信費は含まない） ・業務効率化に資する勤怠管理、シフト表作成等の介護ソフト（一気通貫等の要件は満たす必要あり） 																

更なる拡充

拡充

地域医療介護総合確保基金を活用した介護ロボットの導入支援

既定経費対応

- 介護ロボットの普及に向けては、**各都道府県に設置される地域医療介護総合確保基金を活用し**、介護施設等に対する介護ロボットの導入支援を実施しており、令和2年度に支援内容を拡大したところ。
- こうした中、新型コロナウイルス感染症の発生によって職員体制の縮小や感染症対策への業務負担が増えている現状を踏まえ、更なる職員の負担軽減や業務効率化を図る必要があることから、以下の更なる拡充を行う。
 - ① **介護ロボットの導入補助額の引上げ（移乗支援及び入浴支援に限り、1機器あたり上限100万円）**
 - ② **見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備に係る補助額の引上げ（1事業所あたり上限750万円）**
 - ③ **1事業所に対する補助台数の制限（利用者定員の2割まで）の撤廃**
 - ④ **事業主負担を1/2負担から都道府県の裁量で設定できるように見直し（事業主負担は設定することを条件）**

	令和元年度	令和2年度 (当初予算)
介護ロボット導入補助額 (1機器あたり)	上限30万円	上限30万円
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備 (Wi-Fi工事、インカム) (1事業所あたり)	—	拡充 上限150万円 ※令和5年度までの実施
補助上限台数 (1事業所あたり)	利用定員1割まで	拡充 利用定員2割まで ※令和5年度までの実施
事業主負担	対象経費の1/2	対象経費の1/2

更なる拡充

令和2年度 (補正予算)	
○ 移乗支援 (装着型・非装着型)	上限100万円
○ 入浴支援	上限30万円
上記以外	上限30万円
上限750万円	
必要台数 (制限の撤廃)	
都道府県の裁量により設定 (負担率は設定することを条件)	

対象となる介護ロボット

➢ 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り、入浴支援などで利用する介護ロボットが対象

- 装着型パワーアシスト ○非装着型ベッドアシスト ○入浴アシストキャリアー ○見守りセンサー
(移乗支援) (移乗支援) (入浴支援) (見守り)



事業の流れ



実績 (参考)

- 実施都道府県数：46都道府県 (令和元年度)
- 都道府県が認めた介護施設等の導入計画件数

H27	H28	H29	H30	R1
58	364	505	1,153	1,645

(注) 令和元年度の数値はR2.1月時点の暫定値
※1施設で複数の導入計画を作成することがあり得る